

人吉市まち・ひと・しごと総合交流館くまりば(熊本県人吉市)

作成時点：令和8年3月

人吉市まち・ひと・しごと総合交流館施設利用活発化事業

国民宿舎

創業支援施設

基本情報



位置図

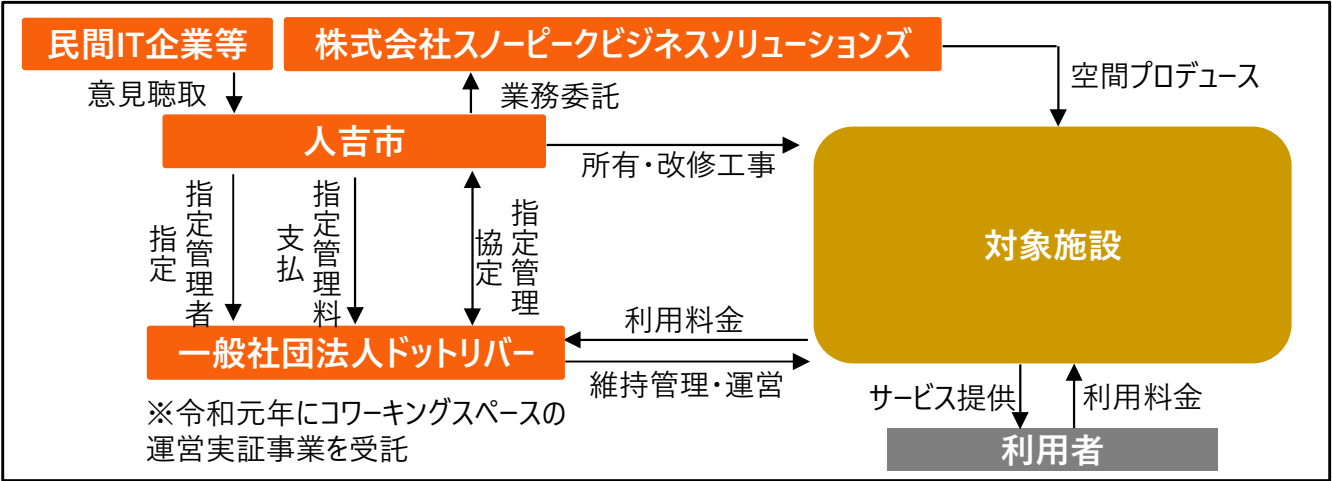
熊本県人吉市相良町4番地2



出所：電子国土基本図（国土地理院 2023年10月撮影）を加工して作成

事業主体	熊本県人吉市（人口：29,016人 ※令和8年1月現在）
事業手法	指定管理者制度
民間事業者の業務内容	・運営業務（コワーキングスペース、シェアオフィス、サテライトオフィス、宿泊施設等） ・維持管理業務（施設及び設備管理、清掃、保守管理）
事業期間	3年間（令和6年4月～令和9年3月）
事業費等	・改修費用 約470百万円 ※市債（交付税措置あり）約224百万円を発行 ・指定管理料 3年間で約71百万円
活用した補助金	・地方創生拠点整備交付金 約210百万円 ・地方創生推進交付金 約5百万円 ・熊本県サテライトオフィス誘致受入施設整備補助金（平成30年度時点） 約4百万円
事業者	一般社団法人ドットリバー
事業経緯	・平成29年 国民宿舎閉館 ・平成30年 くまりば開館 ・令和元年 コワーキングスペース運営実証事業を一般社団法人ドットリバーへ業務委託 ・令和2年 空間プロデュースを株式会社スノーピークビジネスソリューションズへ業務委託 ・令和6年 一般社団法人ドットリバーを指定管理者として指定

事業スキーム図



掲載内容
に関する
問合せ先

人吉市 経済部 商工観光課
TEL：0966-22-2111
Email：syoukoukankou@hitoyoshi.kumamoto.jp

人吉市まち・ひと・しごと総合交流館くまりば(熊本県人吉市)

作成時点：令和8年3月

人吉市まち・ひと・しごと総合交流館施設利用活発化事業

国民宿舎

創業支援施設

検討経緯

- 平成27年に人吉球磨が日本遺産に認定されたことを受け、日本遺産人吉球磨エントランスセンターの設置を検討、**低利用状態となっていた国民宿舎を活用することとした。**
- 平成29年3月に国民宿舎が閉館、平成30年7月に「くまりば」として開業。当初は日本遺産人吉球磨エントランスセンターのみであったが、その後、**コワーキングスペース運営実証事業**（一般社団法人ドットリバーへ委託）を経てコワーキングスペースがオープンした。
- 令和2年3月にシェアオフィスとサテライトオフィスが追加整備され、同年12月にオフィス入居が開始、その後令和6年4月から指定管理に移行した（オフィス入居及び指定管理への切替は、令和2年7月の豪雨被害により当初の予定から延期されていた）

取組のポイント

- 働く人を呼び込み、関係人口を創出することを目的に、コワーキングスペースの整備について検討を開始したが、市では十分なノウハウを有していなかった。そこで、**市内外のIT企業等へ意見聴取を実施。**さらに、キャンプオフィスを手掛ける株式会社スノーピークビジネスソリューションズへ施設の一部（当時の未整備部分）を対象とした**空間プロデュース業務を委託**することで、円滑にコワーキング部分の整備を完了させた。
- **地域住民が日常的に集まる機能（温泉施設部分）と働く人を集める機能（コワーキングスペース等）を複合化することで、地域住民が同施設で実施している創業支援等の事業を認知し、関心を持ち始めるという流れを企図している。**

得られた効果

- 市外からのオフィス入居企業の獲得、コワーキング機能や宿泊機能の提供、その他共用施設を利用した各種プログラムの実施（熱中小学校等）を通じて、関係人口の創出が進んでいる。
- 日常的に温泉施設を利用する中で**創業支援事業に関心を持つ住民が出始めており、今後、市外からのビジネス来訪者と地域住民の交流が進むことで、新たなビジネスや協働の取組が生まれる**といった展開が期待されている。

利活用前



写真出所：人吉市提供

利活用後

